

平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

教職員が協働して、一人ひとりの生徒にきめ細かな指導に当たり、自分の生き方を自分の意志と責任で切り拓く力を育む学校をめざす。

- 1 新しい時代を担う「英知」、自分も他者も大切にす豊かな「人間性」を育む学校
- 2 自由な発想で新しいことに取り組んでいこうとする「創造性」を育む学校
- 3 社会に積極的に参画し貢献していける「社会性」を育む学校

2 中期的目標

1 確かな学力の育成（授業力向上）

(1) 「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善に取り組む。

ア 「授業力向上委員会」を中心に、公開授業や研究授業、授業アンケートを効果的に活用した授業改善に組織的に取り組む。アクティブラーニングや ICT をテーマに研究をすすめ、各教科で研究授業を行う。

※生徒による授業評価における加重平均を 3.1 以上とする。

イ エリア・自由選択科目の選択をとおして、進路実現に対応できる学力を身につけさせる。

※普通科総合選択制アンケートにおける生徒のエリア学習満足度（平成 27 年度 75.7%）を平成 30 年度には 80%にする。

ウ 普通科総合選択制の改編において、エリア学習の成果を生かし、希望の進学を実現できるカリキュラムの検討を行う。

2 意欲のある生徒の育成に向けた指導（生きる力の育成）

(1) 「総合的な学習の時間」と LHR 等を有機的に連携させ、志学、キャリア教育、人権教育を総合的に行うことのできる指導計画を再編成する。

ア キャリア教育の推進に向け、3年間を見通した計画への改善に取り組む。

※卒業時の進路未定者率 2%台を維持する。

(2) 希望の進路実現に向けて具体的な支援を行う。

ア 各学年に進学担当を置き、補習・講習を中心として3年間を見通した学力向上を進める。

※生徒向け学校教育自己診断の進路実現のための学力に関する項目における満足度（平成 27 年度 63.8%）を平成 30 年度には 70%にする。

イ 進路指導部に就職主担を置き、就職希望者に継続的な指導を行う。

※卒業時の就職内定率 100%を維持とする。

3 地域から信頼される安全で安心な学校づくり（生徒指導）

(1) 生徒の規範意識を醸成するとともに、個々の生徒への支援体制を強化する。

ア 生徒が自らの行動を律することのできる人材となるよう、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成に努める。

※生徒向け学校教育自己診断の規律に関する項目における達成度を 90%以上に維持する。

イ 学校全体で生徒指導に取り組む体制を再確認し、教員が共通理解のもとに同じ目標に向かって、生徒が納得のいく指導を行う。

※教職員向け学校教育自己診断の生徒指導に関する項目における達成度（平成 27 年度 53.9%）を平成 30 年度に 75%以上にする。

ウ 保護者や関係機関との連携を強化するとともに、校内の教育相談体制をより一層充実し、必要な生徒に適切な支援・指導を行うことができる体制を確立する。

※生徒向け学校教育自己診断の教育相談に関する項目における満足度（平成 27 年度 69.0%）を平成 30 年度には 75%にする。

※保護者向け学校教育自己診断の生徒指導への満足度（平成 27 年度 68.2%）を平成 30 年度には 70%にする。

(2) クラスを集団の基本と考え、安心できる人間関係づくりの場を提供する。

ア クラス運営において、仲間作りを中心に据える。

※生徒向け学校教育自己診断の友人に関する項目における満足度（平成 27 年度 83.3%）を平成 30 年度には 85%以上にする。

(3) 特別活動や生徒会活動を通じて生徒の自己有用感を醸成するとともに、集団や学校への帰属意識を高める。

ア 行事や生徒会活動、部活動等を通じて、集団の中で人と調和しながら活動できる能力を育成する。

※部活動加入率（平成 27 年度 58.4%）を平成 30 年度には 70%にする。

(4) 保護者および地域との連携を密にする。（情報発信）

ア 広報紙および Web の活用

※保護者向け学校教育自己診断の学校との連携に関する満足度（平成 27 年度 62.8%）を平成 30 年度には 70%にする。

4 共に学びともに育つ教育の実践（共生推進教室）

(1) 障がいのある生徒の自立を支援し、多様性のある学校づくりに生かす。

ア 共生推進教室の運営を確立し、学校生活の中に位置づける。

※保護者向け学校教育自己診断における学校に対する満足度（平成 27 年度 76.3%）を平成 30 年度には 85%以上にする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 28 年 11 月実施分]	学校協議会からの意見
1 確かな学力の育成（授業力向上） 【生徒】 「進路指導に応じて選べる「エリア」、選択科目が多い」 84.4%(3%減) 「進路実現のために必要な学力が身についた」 59.8%(4%減) 【保護者】	第 1 回 平成 28 年 7 月 13 日 ・昨年度話し合った内容が、今年度の授業力向上に向けた取り組みに盛り込まれている。各教科の教員による授業の相互研究が行われていることが興味深い。 ・普通科総合選択制の学校が一般入試に一本化されて各校が不安を抱える中、

府立緑風冠高等学校

<p>「授業はわかりやすいと言っている」56.1%(4.3%増)</p> <p>【教職員】 「コンピューターや視聴覚機器が各教科の授業で活用されている」59.3%(5.4%増)</p> <p>学力について、2・3年生を学年推移でみると評価は上がっている。また、生徒は保護者にも「授業はわかりやすい」と伝えている。さらに各教科でもICTを使用した授業を取り入れるなど授業改善は進んできている。わかりやすい授業改善に引き続き取り組むとともに外部模擬試験を推奨するなど学力がついていることを実感させ、自信をつけさせたい。</p> <p>2 意欲のある生徒の育成に向けた指導（生きる力の育成）</p> <p>【生徒】 「ホームルーム」「総合的な学習の時間」などで進路や生き方について考える機会がある68.2%（4.4%減）</p> <p>【保護者】 進路指導面で、学校は家庭への連絡や情報提供を行い、きめ細かな指導を行っている51.5%（増減なし）</p> <p>【教職員】 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に合った進路選択ができるよう、系統的なきめ細かい進路指導を行っている63.0%(1.1%増)</p> <p>進路実現に向け講習や就職指導などを実施している。1年生、2年生とも「ホームルーム」や「総合的な学習の時間」で「仕事しらべ学習」等について時間を割いているが評価が上がっていない。更なる進路へ意識づけができるよう生徒への指導を丁寧に取り組んでいく。</p> <p>3 地域から信頼される安全で安心な学校づくり（生徒指導）</p> <p>【生徒】 「学習規律や生活規律などの基本的習慣の確立に力を入れている」74.8%(7.2%減) 「学校の規則を、きちんと守っている」87.2%(6.7%減) 「生徒会活動や各種生徒委員会の活動に協力できている」46.7%(10.6%減) 「クラス活動や学校行事(体育大会、文化祭など)に積極的に参加している」81.0%(4%減) 「学校には何でも話せる友達がいる」79.3%(4%減) 「先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれる」58.4%(10.6%減)</p> <p>【保護者】 「学校の生徒指導の方針に共感できる」67.8%(0.5%減) 「文化祭・体育大会に、子どもは積極的に参加している」87.0%(1.4%減) 「子どもは、心身の健康について、気軽に相談できるようだ」50.0%(4.8%減) 「学校は、保護者の相談に適切に応じてくれている」65.3%(0.4%減) 「学校は、生徒の人権を尊重する意識を育て、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」71.4%（0.9%増） 「学校は、家庭への文書などの連絡や懇談を通じて意志疎通を積極的に行っている」65.7%（2.9%増）</p> <p>【教職員】 「生徒の問題行動が起きたとき、組織的に対応できる体制が整っている」38.9%（15.1%減） 「様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で心がけている」46.3%（7.6%減） 「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている」42.6%（6.6%減） 「ホームルーム活動の改善に、クラスや学年、学校全体で取り組んでいる」50.0%（11.9%減） 「学校行事が、生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている」75.9%（13%減） 「生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」57.4%（14%減） 「生徒が達成感を得られるよう、部活動の活性化について工夫している」72.3%（7.3%増） 「教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる」64.9%（5%減） 「生徒指導において、家庭との緊密な連携ができている」61.2%（0.7%減） 「保護者や地域の人々と接する機会を多く持っている」33.4%（7.8%減） 「近隣の中学校などとの校種間連携の機会を設け、教育活動全般に生かしている」42.6%（9.8%減）</p> <p>今後も遅刻や自転車の指導等に取り組み、生徒の規範意識の醸成に努めるとともにカウンセリングマインドを持って生徒指導にあたる。来年度、教育相談についてのスクールカウンセラー等の専門家による教員研修等を実施しさらに生徒に寄り添う指導に努める。</p> <p>4 とともに学びともに育つ教育の実践（共生推進教室）</p> <p>【保護者】 「学校の雰囲気が良く、生徒が生き生きとしている」78.4%（2.1%増）</p>	<p>緑風冠では第一志望で入学する生徒の割合が増えていることは評価できる。その生徒たちの力を最大限に伸ばし、しっかりと育てゆくことが大切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11年前に立てた10名の難関大学進学者を出すという目標を達成できなかった検証や振り返りが必要。緑風冠カラーを出しつつ難関大学進学をめざすという告知・広報を行い、しっかりと進路指導を行わなければまた同じことになることが危惧される。 ・一般入試で大学に進学できる力を育むというのは重要かと考える。即効性はないが中・長期的に見れば確かな進路保障につながっていく。 ・進学実績を少しずつ伸ばす努力をしていかなければならない。最低限今の進学実績を維持する努力が必要。通常授業だけでは進学実績は伸びない。進学実績が上がっている学校はそれ以外の取り組みを行っている。 ・11年で緑風冠のカラーはできており、緑風冠というのはこういう学校であるというのは中学生や中学校の先生方も知っている。その中で緑風冠というのは進学、特に有名大学をめざしている学校ではないと浸透しているのではないか。 ・緑風冠高校が「あそこは最後まで子どもの面倒をとことん見てくれる」という評判が上がる取組を進めてもらいたい。 <p>第2回 平成28年11月22日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学率を上げると同時に有名な大学にどれだけの人を送っていただけるかが、中学生や中学校の先生から見たときに緑風冠に対する評価につながると思う。 ・授業日数180日程度のところで1500人の遅刻というと、1日7人～8人。各学年2人という状況で、非常に落ち着いた学校である。しかし逆に、2人くらいだったら何とかならないかなという気持ちもある。 ・専門コースは12単位以上の専門科目を履修しなければならない。2コースで24単位になる。このことから、現在のエリアの取り組みを残すことは大変だと想像する。来年度の募集について、来年の今の時期にパンフレット等で示さなくてはいけない。実質半年くらいしか時間が無い。相当急いで内部調整していかないと間に合わないと感じる。 ・現在の普通科総合選択制の「エリア」をあまり引きすぎらない方がいいと思う。というのは、普通科総合選択制の6つのエリアは、加配があって、そのような学校を作るという前提があつての制度だから、改編するということならばそこは頭を切り替えた方がいいと思う。 ・大東高校が閉じて新しく緑風冠高校が発足して10年経った。名称こそは変わらないが学校は変わったくらいのインパクトはこの改編にはある。 ・緑風冠高校はいろんな施設が充実していて、先生方も力があり、生徒も落ち着いている。緑風冠高校は新しいことに取り組むためのいろんな資源を持っている。その資源をどう生かすかが重要。 ・少人数授業がうまくいくポイントについて。クラスを分けるだけでは何の意味も無い。クラスを分けて、その少人数に応じた授業をどう運営するかによって少人数の効果が出てくる。 ・就職に関して、生徒を見ていて良い生徒を送ってくれて感謝している。来ている生徒は成績が良い方ばかりだが、もう少し元気が欲しい。しっかりしているが、元気さはもう少し欲しい。 ・落ち着くべきところは落ち着いて、元気を出すべきところは元気を出す。心理学では自己呈示と言う。場合に応じて自己呈示ができるフットワークの軽さがあるに越したことはない。生徒が持っているいい面を大事にしつつ、プラスアルファ、社会からのニーズを踏まえながら、どういうところを磨いていくのかがポイントと考える。 ・進路に向けて頑張る生徒は頑張るけれど、楽しく3年間過ごしたい生徒たちも混在している。文化祭や体育祭を見て団結して楽しそうだなと感じた。その部分は2年後も変わらずに生かしてほしい。文系理系に特化しながらも、総合系の生徒たちと和気藹々と学校生活を送る校風は残してほしい。 ・部活動加入生徒が少ないことが気になる。遅刻数や学習状況から見ると少ないと感じる。これが7割くらいになると学校の活気と生徒の活力が出てくるのではないかと思う。 ・遅刻者数の少なさは前面にアピールできるリソースだと思う。さらにもっと少なくし対外的にてアピールすることが緑風冠の強みにつながる。 ・就職率が100%というのはすごい数字だと思う。一人が落ちたら100%は達成できない。今回に限らず、今後も継続して緑風冠の良い面として誇れることの一つだと思う。 ・新しい制度で迎える生徒は新しい大学入試制度を受ける一年目の生徒になる。短期的な視野と中長期的な視野を見据えながらカリキュラムを組んでいくことが重要。
--	---

今後も「ともに学びともに育つ」教育を実践し、安心して共生推進教室に希望してもらえるよう広報活動を充実する。

第3回 平成29年2月22日

・授業アンケートの結果については、妥当な数値が出ていると思う。質問は、家庭学習、教員の取り組み、学んだことの活用に分かれているが最後の「学んだことの活用」の数値が低くなるのは理解できる。特にこの部分の数値を上げようとするアクティブラーニングの手法に加え演習に取り組まなければならない。今後は習熟度別講座など学力に応じた編成を取り入れるなど考えられたい。

・限られた資源のもとで普通科専門コースへと遷移した後も学校力を向上しなければならない。資源を学校内に限定すると限られてしまう。そのためには学校外の資源も活用して学校づくりをめざす、いわば「チーム学校」で学校力を向上していく考え方もある。これには地域の方々や団体、企業等も活用も考えられるのではないか。

・緑風冠になって12年。卒業生も様々な分野で活躍していると思う。ヒトも資源として考えて活用できるのではないか。時間の調整がつかなければビデオメッセージの形でも、自身の体験や現在就いている職業について語るなど進路指導等で活用できるのではないか。

・今後、普通科専門コースの設置の準備を進めながら総合選択制の12期生を迎える、多忙となるが新しい学校づくりに邁進していただきたい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>(1)「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善に取り組む。</p> <p>ア 「授業力向上委員会」の活用</p> <p>公開授業や研究授業、授業アンケートを効果的に活用した授業改善の推進</p> <p>生徒の活動を重視した授業やICTを活用した授業改善の推進</p> <p>イ エリア・自由選択科目の選択をとおして、進路実現に対応できる学力を身につけさせる。</p> <p>ウ 普総選改編におけるカリキュラムの検討</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導教諭を中心に、教務部担当、教科代表による「授業力向上委員会」を置く。年2回の校内授業研究週間、生徒授業アンケートを実施し、授業改善を推進する。 とりわけ、経験の少ない教員の授業力向上に努める。 <p>・全教科全科目で生徒の能動的な学習活動を取り入れた授業を実施し、ICTの活用について推進する。</p> <p>・前項について各教科で研究し、「授業力向上委員会」で課題把握と成果検証を行い、全教員で情報共有する。</p> <p>イ・きめ細やかな進路に対応できるように、エリアのガイダンスを行う。</p> <p>ウ 普総選改編委員会を設置して、本校生の実態に応じたカリキュラムを検討する。</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価における加重平均(平成27年度3.06)を3.1以上とする。 年2回公開授業及び研究協議の実施。 <p>・生徒授業アンケートの生徒意識の項目で、全教員の加重平均を3.0以上に(平成27年度3.0%)。</p> <p>イ・普通科総合選択制アンケートにおけるエリア学習満足度(平成27年度75.70%)を77%にする。</p> <p>ウ 8月末までにカリキュラム案を職員会議に提示する。</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒授業アンケートにおける平均は3.07(△) 年2回(6月、11月)公開授業週間及び研究授業の実施(○) わかりやすい授業であると保護者には伝えていたが、進路実現に向けた学力が身についたと感じていない。進路実現がかなうよう常に授業改善を図っていく。 生徒意識2.97(○) 短焦点プロジェクターを2台購入し計6台のプロジェクターを授業で活用 今後もICTの活用やアクティブラーニングの手法を取り入れた授業実践を通して生徒の意識向上を図る。 <p>イ エリア学習満足度は、70.1%(△)</p> <p>学習満足度を上げられるよう授業改善に取り組み学力向上を図る。</p> <p>ウ 普通科総合選択制改編委員会での議論を経て作成したカリキュラム案を各教科に示し、改編に向けたカリキュラム案完成(◎)</p>
2 意欲のある生徒の育成に向けた指導	<p>(1)「総合的な学習の時間」とLHR等を有機的に連携させ、志学、キャリア教育、人権教育を総合的に行うことのできる指導計画を再編成する。</p> <p>ア キャリア教育の推進に向け、3年間を見通した計画への改善に取り組む。</p> <p>(2)希望の進路実現に向けて具体的な支援を行う</p> <p>ア 各学年に進学担当を置き、補習・講習を中心として3年間を見通した学力向上を進める。</p> <p>イ 進路指導部に就職担当を置き、就職希望者に継続的な指導を行う。</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの実践を踏まえながら、3年間を見通した総合的な学習の時間(スタートアップ)の内容を再検討する。 1年生の「仕事しらべ学習」を継続するとともに、基礎学力検査を実施する。 2年生のオープンキャンパスへの参加、「看護師一日体験」への参加を継続する。 <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の進学担当を中心として、卒業までの学力向上の道筋を検討する。 <p>イ・3年生の進路別講座を開講し、とくに就職希望者には「就職ゼミ」を設け、職業意識の確立とコミュニケーション能力の向上に力点を置いた指導を継続する。</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通科総合選択制アンケートにおける生徒のエリアガイダンス満足度(平成27年度67.47%)を70%にする。 卒業時の進路未定者率(平成27年3月末2.2%)を維持する。 <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 進学希望者への組織的な補習、講習等を実施し、外部模試の受験者数を今年度より増やす(平成27年度55人)。 <p>イ・卒業時の就職内定率3月末100%を達成する(平成27年度100%)。</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> エリアガイダンス満足度は、66.5%(△) 卒業時の進路未定者率0.97%(◎) 丁寧なエリアガイダンスを行い今後も進路実現に向けた指導を行っていく <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部模試の受験者数406人(4回実施延べ人数)(◎) <p>イ 卒業時の就職内定率 1月末現在 100%(◎)</p>

<p>3 地域から信頼される安全で安心な学校づくり</p>	<p>(1)生徒の規範意識を醸成するとともに、個々の生徒への支援体制を強化する。</p> <p>ア 生徒が遅刻しない学校づくり 交通安全や薬物乱用防止に向けた規範意識の醸成</p> <p>イ 生徒理解を深め、教員が一枚岩となった指導</p> <p>ウ 個に応じた支援体制と教育相談体制の充実</p> <p>(2)クラスを人間関係づくり、安心できる場とする。</p> <p>ア 仲間作りのクラス運営</p> <p>(3)特別活動等を通じた生徒の自己有用感の醸成と、集団への帰属意識の向上</p> <p>ア 部活動の活性化に向けた取組みの推進 生徒の学校行事への参加意欲向上に向けた取組みの推進</p> <p>(4)保護者および地域との連携を密にする。</p> <p>ア 広報紙およびWebの活用</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員による登校時の校門立番を継続する。 ・教員による登下校時の自転車マナー指導を継続し、さらに生徒の規範意識を高め生徒自らが考え行動できることをめざす。 ・薬物乱用防止教室を継続して実施する。 <p>イ・生徒状況の理解と生徒指導に向けて教職員の共通理解を図る。</p> <p>ウ・要支援生徒について、担任および学年団の教員、養護教諭が十分に情報を共有し、生徒相談委員会で検討し、必要に応じて個別指導計画をつくる。また SC および SSW とともに外部機関と連携しながら支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中退率のさらなる減少に努める。 <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府教育センターのクラス開き研修を受講しクラスでの仲間作りに活用する。 <p>(3) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の様子を、学校 Web ページ等で積極的に発信し、あらゆる機会をとらえて部活動を顕彰する。 ・中学生向け学校説明会において、体験入部を実施する。 ・複数の部活動で中学校との交流を行う。 ・生徒会活動を活性化し、体育祭、文化祭への参加意欲をさらに高める。 ・生徒保健委員の部活動安全講習会、保健所との連携による活動を継続する。 <p>(4) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校 HP を充実する。 	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻総数を前年度より10%減らす(平成27年度1578件)。 ・自転車マナーに関する苦情件数を前年度より減らす(平成27年度10件)。 <p>イ・生徒指導の共通理解と実践に向けて教職員研修・事例研究を複数回行う。(平成27年度2回)</p> <p>ウ・生徒向け学校教育自己診断の教育相談に関する項目における満足度(平成27年度69.0%)を70%にする。</p> <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒向け学校教育自己診断における友人に関する意識(平成27年度83.3%)を85%以上にする。 <p>(3) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率(平成27年度58.4%)を60%にする。 ・中学生向け学校説明会参加者を前年度より10%増加させる(平成27年度700人)。 ・生徒向け学校教育自己診断における生徒会活動への参加意識(平成27年度57.3%)を60%以上にする。 <p>(4) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校 HP を週に3~4回更新する(平成27年4回) ・緑風だよりを各学期発行する(平成27年度5回) 	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期末現在遅刻数 1432件(△) 今後とも遅刻一斉指導等を継続して行っていく。 ・校外自転車安全指導、自動車教習所と連携した交通安全教室の実施 苦情件数 1月末現在 6件(◎) 警察と連携した薬物乱用防止教室の開催(◎) <p>イ 2つの職員研修を実施(○)</p> <p>「障がいのある生徒の理解」(10/13)</p> <p>人権が尊重された安全・安心な学習環境づくり」(10/14)</p> <p>ウ 教育相談に関する満足度58.4(△)</p> <p>研修を取り入れるなどカウンセリングマインドのさらなる向上をめざす。</p> <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友人に関する意識79.3(△) クラス開き研修次年度担任候補者受講 クラス以外の生徒とも関わられるよう生徒会活動、部活動等にも力を入れ、学校生活で多くの生徒と関わりが持てるようにしていきたい。 <p>(3) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率 62.5%(◎) ・学校説明会(3回)2月第4回実施予定 参加者1月末現在 816人(◎) その他、市・区主催学校説明会への参加 ・吹奏楽部、軽音楽部、女子バレーボール部等で中学校との交流を実施 ・中学校への出前授業実施 <p>・参加意識46.7(△)</p> <p>部活動安全講習会7月実施、保健所連携事業未実施(保健所事業縮小のため)</p> <p>生徒会の生徒は、体育祭、文化祭、部活動交流会、百人一首大会等各行事で活躍している。また各委員会活動においても達成感を持たせるよう担任、分掌担当教員がさらに積極的に関わっていく</p> <p>(4) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月末現在 ・HP 週4回(○) ・緑風だより3回(○)
-------------------------------	--	---	---	--

府立緑風冠高等学校

<p>4 共に学びともに育つ教育の実践</p>	<p>(1)障がいのある生徒の自立を支援し、多様性のある学校づくりに生かす。</p> <p>ア 共生推進教室の運営を確立し、学校生活の中に位置づける。</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度の完成年度に向けて共生推進教室の組織と運営を確立する。 ・中学校への共生推進教室の教育内容の紹介を強化する。 	<p>(4) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共生推進教室委員会を定期的に開催し、諸課題について検討し、校内で全体化する。 ・選拔出願者を3人以上にする。 	<p>(4) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒカリ会議として毎月1回のペースで開催 ・必要に応じて生徒状況を職員会議で報告し、情報の共有化(◎) ・今年度より6月、10月、11月、12月の学校説明会において、共生推進教室の説明会を実施 出願希望者 1月調査4名 (◎)
-----------------------------	---	---	---	--